

ゲスト講師 前田 大介さんへの質問と回答

No.	質問	回答
1	薬をつくる上で大切にしておられることは何ですか？	1年間で何千万本という塗り薬を作り日本中に供給していますが、患者さんにはそのうちの1本とか2本が届くわけです。患者様にとっては貴重な1本の塗り薬に安心して安全に使って頂けるお薬づくりを大切にしています。
2	お仕事で自社の薬を実際に使っている人に会うことはありますか？	はい、あります。使って下さっている方に会い、話を聞くと、より一層安心安全な医薬品を作らねばならないと、気が引き締まります。
3	将来の目標(夢)を叶えるために、中学生の時にやっておけばよかったことやアドバイスを教えてください。	たくさんの友人ができたことが今も財産になっています。 また、部活動（私の場合は小学生から大学までバスケットボール）に人の何倍も何十倍も熱中しました。自分が熱中できるものを何でも良いので見つけて、とことんやることをされると良いと思います。 また、これは私の後悔ですが、グローバルな時代に入っていますので、『話せる、聞ける、書ける英語』を留学などをしてしっかり勉強していたら、今はもっと世界が開けていたであろうと感じています。
4	社長でも薬の勉強などはしないといけないのですか？	ある程度は勉強しないといけないと思います。ただ、専門的な技術や化学的知識は専門の社員に任せて、社長はやはり世の中の動向、チーム作り、新しい事業のタネを見つけるための勉強や動きが一番大切だと思っています。

特別講師 加藤 喜昭さんへの質問と回答

No.	質問	回答
1	CO2で車を動かすことはできないのかと思いました。	CO2だけで直接車を動かすことはできませんが、工場とかで排出されたCO2を集めて水素を原料とした燃料の開発が現在進められています(e-fuel)。その燃料で車を動かすことができます。
2	大きな発明をするために、どんなことを心の支えにしましたか？	自分たちの子孫が将来も元気で笑顔で過ごしている姿を想像して心の支えにしていました。
3	プランクトンは、どうやって自然のために使うのですか？また、どうやって微生物を活用した植物をつくっているのですか？	わたしが現在取り組んでいるのは、微生物の研究をベースにした技術開発です。微生物（プランクトンとは違います）が土の中の植物の根の周りに広がり、植物の成長を助けます。
4	i-unitはなぜ普及できなかったのですか？また、価格はいくらですか？	当時の最先端の技術で作ったので、研究レベルでは実現していましたが、世の中で使えるまでにはまだまだ時間が必要でした。最近になってその技術がいろいろなところで使えるようになりました。近い将来、i-unitのような車が、価格も皆さんが買えるような価格になって出てくると思います。
5	どうして17年もの間、研究を続けられたのですか？	i-unitの開発は17年前です。この開発に約5年間、この開発に携わりました。このプロジェクトの後には、またさらに別のモビリティ開発に携わってきました。長く車の開発に携わってきた理由は、クルマは人にとって必要なものなのでそれを実現したいと思えたからです。
6	良いアイデアを生み出すためにはどうすればいいか。	良いアイデアを生み出すには、自分の周りを見て、もっと良くしたいとかこんなものがあつたらいいなといつも考えていることです。